

2017/05/02

説明と同意書

ESD

【病名・症状】早期胃癌・早期食道癌・早期大腸癌

【医療行為説明】（治療方法、検査、手術、危険度、合併症、予後など）

1. 治療方法：内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）

内視鏡的に胃や大腸などの消化管の粘膜下層という層を剥離して病変（早期癌）を切除する方法です。厚さ数mmの消化管壁を内視鏡を用いて剥離しますので、下記に述べるような合併症が生じる危険性があります。手術時間は病変の部位や大きさによって異なりますが、通常2～3時間を要します。

2. 合併症：

出血 輸血を必要としない程度の出血は全員に生じます。輸血を要する出血が生じる確率は全国平均で約4%です。病変が大きい場合や抗血小板療法を実施中の方などでは出血の危険性は高くなります。

穿孔 消化管に穴が開くことです。穿孔すると腹膜炎や縦隔炎などの炎症を生じます。軽症の場合には食事を開始するのを遅らせて抗生物質を投与することで治癒しますが、重症の場合には開腹（開胸）手術が必要になります。胃の場合、穿孔が生じる確率は全国平均で約4%です。食道や大腸の場合には穿孔が生じる確率は10%以上とも言われています。

【狭窄】食道や大腸の場合、切除する病変の範囲が大きいと治癒後に狭窄を生じることがあります。狭窄を生じた場合には数回から十数回の内視鏡的拡張術を実施することがあります。

【薬の副作用】苦痛なく内視鏡検査・治療を受けて頂くため、局所麻酔剤をはじめ鎮痙剤や鎮静剤など様々な薬を使用します。その副作用で極まれにに命に係わる状態になる事があります。その場合、最善の処置をさせていただきますが、重症の合併症が残ることがあります。

3. 治療後：

内視鏡的切除の術後には人工的な潰瘍が生じます。退院されたのちにも出血を生じる危険性がありますので、便が黒くなったり、嘔吐した場合に血液が混じっていないかよく観察してください。最低でも2週間は禁酒が必要です。

4. 病理結果：

内視鏡で切除した標本は顕微鏡の検査（病理検査）に提出します。通常10～14日程度で結果がわかります。癌の深達度が事前の診断より深かった場合には追加で外科的切除が必要になることもあります。

<また同意書を提出された後でもお申し出があれば、治療を中止することができます。>

2017/05/02

食道・胃・十二指腸 ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)説明書

入院日は 6 月 5 日 11 時です。

朝から禁食し和名ヶ谷の新東京病院の入院受付へ 時までに来院してください。入院後、同意書を担当の看護師へ渡してください。

<当日持参するもの>

- ・保険証
 - ・診察券
 - ・治療の同意書
 - ・入院申込兼誓約書
 - ・お薬手帳
 - ・内服薬
 - ・ペースメーカーを埋め込みされている方はペースメーカー手帳
 - ・治療時に着用するリハビリパンツ2枚 (売店)
 - ・お化粧やマニキュア(ネイル)をされている方は化粧落としや除光液など(ジェルタイプのマニキュアはあらかじめ除去しておいて下さい)
 - ・入院セット同意書
- (入院セットには寝衣、バスタオル、フェイスタオル、イヤホンが含まれます。)
- ※別売りセット…コップ、ティッシュ、歯ブラシ、歯磨き粉、リンスインシャンプー、ボディソープ の計6点は1300円で購入できます。

- 6/4 ① 入院前日
- 19 時頃までに消化の良い食事(うどんやお粥など)を摂ってください。それ以降は禁食です。
- 飲水(水、お茶、スポーツドリンク)は可能ですがアルコールは禁止です。

- 6/5 ② 入院当日
- 朝から禁食です。飲水は水・お茶であれば少量取って頂けます。
- ※糖尿病の方は糖尿病の薬は内服せず、インスリンは打たないでください。
- 心臓の薬や血圧の薬で中止指示のない薬は、コップ1杯の水で朝6時頃に内服してください。
- ※抗血小板薬・抗凝固薬(血液サラサラ薬)を服用している場合は、医師より中止または継続の指示があります。別紙を確認してください。

③ 入院後

長着に着替えて頂き、リハビリパンツを着用して頂きます。

入れ歯や指輪、湿布などの付属物は全て外して下さい。

準備が出来ましたら、病室にて点滴を開始します。

治療の順番になりましたら、担当の看護師と内視鏡室へ移動します。

※御家族の方は、治療終了後に医師より説明がありますので、一緒に1階の内視鏡室まで下りて頂き、治療が終了するまでレントゲン室前の長椅子でお待ち頂くか、病室でお待ち頂きます。

④ 治療終了後

鎮静剤を使用している為、内視鏡室からストレッチャーで病室へ戻ります。

鎮静剤の影響で目が覚めていても通常の状態とは異なりますので、トイレ等自分で出来ると思ってもふらつくことがあります。必ず看護師の指示に従って下さい。

治療後は絶飲食です。また、心電図モニターを装着し点滴は医師の指示があるまで継続します。

6/6 ⑤ 治療翌日

治療した部位から出血がないか確認の胃カメラをします。

出血がなければ飲水や食事の開始の指示がありますが、病状によって飲水と食事の開始日時が異なりますので担当の看護師に必ず確認してください。

中止していた薬は再開の指示があるまで内服しないでください。

※問合せ先

・08:30~17:00 新東京クリニック内視鏡室 TEL 047-366-7000

・17:00~08:30 新東京病院 救急外来 TEL 047-711-8700

2017/05/02

同意書

医療法人社団 誠馨会
新東京病院 病院長 殿

私は、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を受けるにあたり、下記の医師から説明文書に記載された事項について説明を受け、その内容を十分に理解しました。
また、私はこの検査を受けるかどうか検討するにあたり、そのための時間も十分に与えられました。以上のもとで、自由な意思に基づき、この検査を受けることに同意します。
なお、説明文書原本とこの同意書を受け取りました。

- ☐ 医療行為の目的・方法
- ☐ 医療行為に伴う危険性
- ☐ 偶発症発生時の対応
- ☐ 鎮静剤の使用に関して
- ☐ 治療後の注意事項
- ☐ 病理結果について
- ☐ 連絡先

【説明】

説明年月日：平成 29 年 5 月 2 日

説明医師：

石田 正典

同席者：

鈴木 澄香

職種：

看護師

【同意】

同意年月日：平成 29 年 5 月 2 日

同意者（本人）：

【代諾者】

代諾者名：

患者さまとの関係：